

4年間の任期を振り返って

2016(H28)年4月から長崎組長のあとを引き継ぎ、「うけつぐ伝灯 伝えるよろこび」をテーマに掲げ、地域に密着しつつ時代に合った運動にすべく、取り組んできたつもりであるが、少しでも成果があったかどうか分からず不安である。

しかし先ず、見る組報「ようまいってね」を通算15号発行 ▲就任当時できたことは、大変良かったと自負している。スタッフに感謝したい。

また、2016年10月から翌年5月まで、伝灯奉告法要の本山参拝に、総数754名が参拝した。就任早々の大事業で大変であったが、尊いご法縁をいただいた。

2017年の同朋の集いで、東員イオンシネマを貸し切って、東日本大震災ドキュ



▲第9回 門信徒の集い (国府別院にて)

メンタリー映画「LIFE～生きてゆく」の上映会と監督・出演者(被害者)のトークを開催し、総勢317名の参加を得た。震災で津波と原発事故の被害を受けた家族のドキュメントを通じて、生きる・家族などいのちの学びを深めることができた。

11期組連研は、1年2ヵ月かけ、A会場(六日・二十五日講) B会場(十三日講)において、テーマ17回で開催され、53名中47名が修了した。残念ながら、中央教修に参加し門徒推進員になった人が少なかったことが今後の課題である。

4年に1度の「門信徒の集い(第9回)」は、今までになく聖人ご夫妻ゆかりの地・越後の国を訪ねて、2019年10月に1泊2日で開催した。本年が組仏婦連盟結成50周年で、恵信尼様がご往生されて750年にあたるため、ご縁をより活かすために、現地を訪ねご夫妻のご苦勞を身近に感じようと企画した。参加した140名は、それぞれに「現地ならではの説得力」で感慨深いものがあったと聞いている。

最後に、この4年間で2回もの天災があった。一つが2017年の雪害で、21ヵ寺の被害があり、また2018年の台風21・24号、21ヵ寺の被害が出た。天災はいつくるかわからないが、備えておく必要性を痛感した。

寺院を取りまく環境は、年々非常に厳しい状況になっている。寺院一ヵ寺でこれを乗り越えて行くのは困難である。こういう時こそ、組内一丸となることが大事である。どうぞ、これからも員弁組の活動をよろしくお願いします。4年間ありがとうございました。



員弁組組長 石本龍憲

員弁組のお寺さん (敬称略)

専福寺大遠忌法要(庭儀宿) 六日講集合写真



十三日講初講(浄願寺)



西念寺大遠忌法要(庭儀宿) 二十五日講集合写真

